

雪の音で

Vol.151

令和6年6月15日発行



巻頭言	「安全で安心して暮らせる新潟県」の実現に向けて	新潟県土木部長 深田健	1
特集	主要地方道富山立山公園線 富立大橋4車線化開通について	富山県 富山土木センター 立山土木事務所	2
寄稿文	越後平野の治水・利水の歴史を語る開門群 ～インフラツーリズムへの活用～	株式会社クリエイトセンター 田邊敏夫	6
ちょっと気になる コーナー	初心に帰って「越中八尾おわら風の盆」	中越トラベル 常務取締役 山崎康裕	10
お知らせ	令和6年度(第42回) 北陸支部定時総会	総務部会 総務委員会	12
お知らせ	令和5年度 倫理・法令委員会講習会 職場のメンタルヘルス セルフケア編 ～「ストレスで折れない心」の育て方～	総務部会 倫理・法令委員会	13
お知らせ	令和5年度 支部活動報告	事務局	15
	会員名簿 役員・委員会名簿	事務局	19
	編集後記	古橋伸彦	

[題字]

元北陸地方建設局長
廣瀬利雄 揮毫

[表紙・裏表紙写真]

タイトル 弥彦山からの眺望
撮影地 新潟県西蒲原郡弥彦村

巻 頭 言

「安全で安心して暮らせる新潟県」 の実現に向けて

新潟県土木部長

深 田 健



令和5年4月に土木部長を拝命してから、あっという間に1年が過ぎましたが、この間1月1日には能登半島地震が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。本県でも津波や液状化などにより多くの住宅被害が発生しており、被災からの復旧・復興のため、新潟県土木部としてもできる限りの支援を行っていきたいと考えております。

こうした近年の激甚化・頻発化する自然災害を目の当たりにして、改めて身の回りの自然環境の変化を感じるとともに、この変化に対応した防災・減災の取組が必要であることを実感しています。本県でも「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の有利な財源を積極的に活用して、流域治水や災害に強い道路ネットワークの構築、老朽化対策、雪寒事業などの防災・減災対策に取り組んでおります。令和4年8月の豪雨では県北地域を中心に甚大な被害に見舞われましたが、これまでの国土強靱化の取組による効果が発揮されたところもあり、事前の防災・減災対策の重要性を改めて認識したところです。

本県は広い県土と長大な河川等を有し、自然災害のリスクが高いことや、高度経済成長期に建設されたインフラ施設の老朽化の進行など多くの課題があります。引き続き、防災・減災対策を着実に推進し、県民の安心・安全な暮らしと経済活

動の礎となる社会資本の整備・維持管理をしっかり担うため、貴協会との連携を更に深めながら努力していきたいと考えております。

災害対応や社会資本整備を着実に進めていくためには、これらを担う建設産業が地域の基幹産業として活躍し続け、魅力ある産業となることが重要となります。企業の経営の安定化や労働環境の改善が図られるよう、県では、低入札対策や地元優先発注など、安定的な収益確保や週休二日の浸透に向けた取組を推進しているところです。

また、将来の担い手確保の対応は喫緊の課題となっています。本年4月からは建設業にも時間外労働の上限規制が適用されたことから、これを一つの契機と捉え、持続可能な建設産業の実現に向けて、より一層取り組んでく必要があります。

貴協会とも連携して行っている中学生・高校生などを対象とした出前講座「土木出張PR」など次世代を担う若者に向けて、官民連携した社会資本整備への取組を更に発信し、建設産業の重要性や使命・役割などを伝えて行きたいと考えております。

最後に、安全で安心して暮らせる新潟、活力ある新潟づくりの推進に向けて、今後とも貴協会の会員の皆様方の御支援と御協力をお願いするとともに、貴協会の益々の御発展を心から祈念いたします。

主要地方道富山立山公園線

ふ り ゅ う

富立大橋4車線化開通について

富山県 富山土木センター 立山土木事務所

1. はじめに

主要地方道富山立山公園線は、富山市中心市街地を起点とし、中新川郡立山町の市街地を経て、立山黒部アルペンルートに至る、延長約65kmの重要な幹線道路です。

このうち、富立大橋を含む富山市藤木から立山町利田曾我までの1.8kmの区間は、一級河川常願寺川を跨ぐ橋梁の渋滞緩和、新たな広域ネットワークの形成を目的として、平成17年3月にI期線（暫定2車線）の供用を開始しました。

しかしながら、その後、沿線では大型商業施設や企業の進出が相次ぎ、I期線の交通量は年々増加し、4車線化の要望が高まったことから、地域全体における交通の円滑化を図ることを目的として、平成27年度に富立大橋を含む当該区間の4車線化事業に着手しました。このたび、II期線（4車線化）事業が概成し、令和6年3月24日に供用を開始しましたのでその概要をお知らせします。



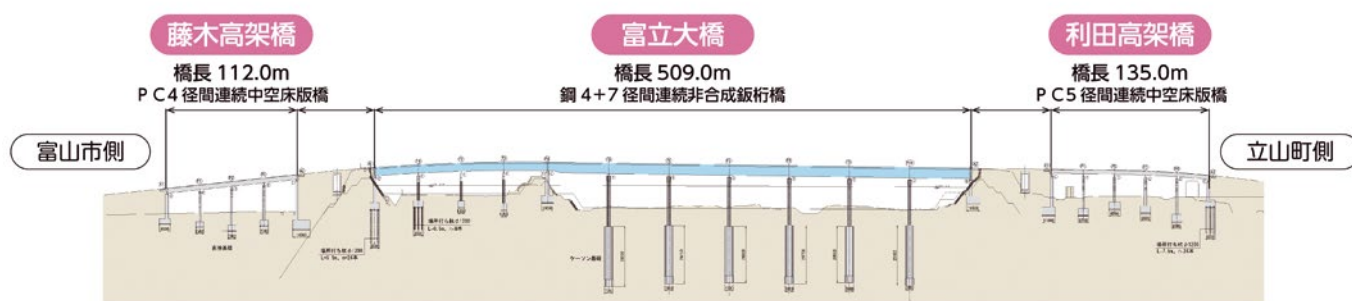
図-1 事業位置図

2. 事業概要

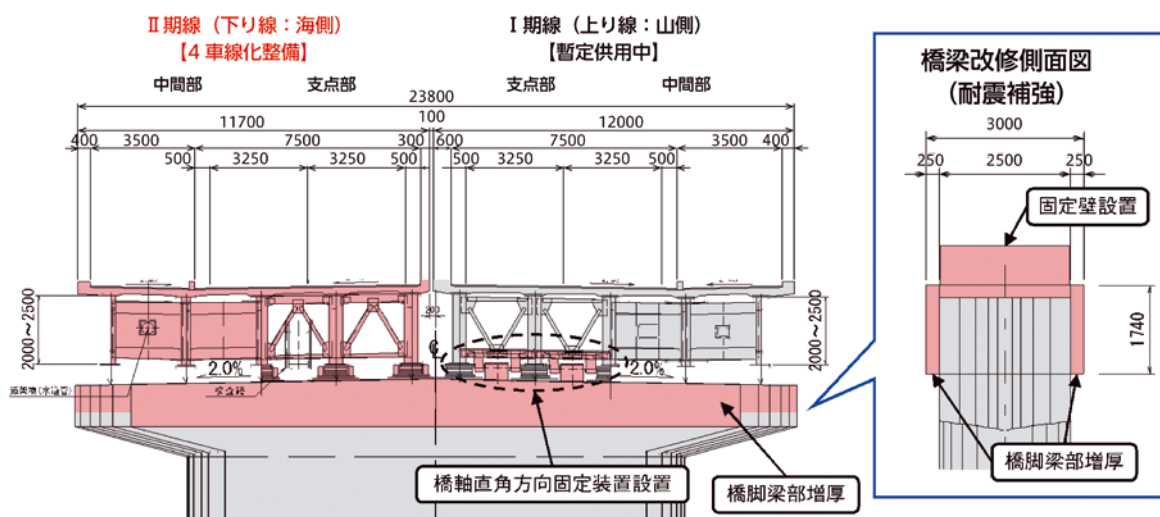
路線名：主要地方道 富山立山公園線
 開通区間：富山市藤木～中新川郡立山町利田
 事業期間：平成27年度～令和6年度（10年）
 事業費：約47億円
 事業延長：1.8km（橋梁区間0.9km）
 幅員：2車線→4車線（23.0m）
 道路規格：第3種第2級

主要構造物：富立大橋509m
 （鋼4+7連続非合成鈹桁橋）
 藤木高架橋112m
 （PC4径間連続中空床版橋）
 利田高架橋135m
 （PC5径間連続中空床版橋）

側面図



橋梁断面図（富立大橋）



※4車線化整備にあわせて、I期線の耐震性能を向上する補強も実施

3. 整備の効果

(1) 地域全体の交通の円滑化

本路線は、富山市中心市街地から順次4車線化整備を進めてきており、常願寺川左岸側は、富山市藤木(南)交差点まで完成していました。また、常願寺川右岸側については、大型商業施設等の出店に伴う交通渋滞対策として利田曾我交差点から東芦原交差点まで4車線化整備が完了しており、円滑な交通処理を進めるため当該区間の4車線確保が課題となっていました。

このたびのⅡ期線の完成により、富山市中心市街地から東芦原交差点までの一連区間が4車線で供用することとなり、富立大橋の上下流に架かる2橋(大日橋、常盤橋)からの交通シフトも含め、地域全体における交通の円滑化が図られます。

(2) 沿線の産業・経済活動の活性化

本路線は、北陸自動車道立山ICと富山市中心市街地とを結び、沿線の産業・経済活動を支える幹線道路です。

立山ICから立山町利田地区までの沿道は、立山舟橋都市計画区域マスタープランの沿道商業振興拠点として、立山IC周辺は工業・商業振興拠点に、立山町利田地区は工業振興拠点に位置付けられています。当該区間の4車線化は、企業誘致や商業施設の立地促進が図られ、雇用の拡大や豊かで活力ある地域の創出に寄与するものと期待されます。

(3) 緊急輸送道路の機能強化

I期線は平成8年道路橋示方書で設計されていたことから、Ⅱ期線の設計時には平成24年道路示方書改訂による照査を実施し、I期線の耐震性能を向上させる補強工事も併せて施工しました。

暫定2車線区間を4車線化することにより、災害に強い幹線道路ネットワークの機能の強化が図られることとなりました。

(4) 歩行者等の交通安全の確保

歩行者等の安全、安心な歩行空間を確保するため、Ⅱ期線においても幅員W=3.5mの歩道を整備し両側歩道となりました。よく晴れた日、富山市側から立山町側にある常願寺公園まで、立山連峰を望みながらのウォーキングはまことに爽快です。

4. 工事期間中におけるDXと わかりやすい広報への取り組み

(1) DX

富立大橋のCIMを作成していたのでそれを有効活用するため、立山土木事務所ではDXに挑戦しました。CIM(3Dデータ)、ICT、AR等のデジタル技術を導入し、「事業の可視化」や「新たなデジタル体験の提供」に取り組みました。

関係機関との協議や地元説明会等において、これまで工事図面ではわかりにくかった施工イメージを、CIMと撮影した写真を組み合わせた「施工ステップ図」を作成することにより、専門知識がなくても施工手順や完成形がイメージできるようになり、理解しやすい情報の提供、より正確なイメージの共有に役立てられました。

また、AR技術を使って工事進捗の動画、画像を映し出す「見える化」により、現場内における各作業部署間の情報共有の効率化が図られ、さらなる安全性の向上に繋げることができました。

(2) 富山県公式 YouTube への投稿

広く事業をPRするため、県の公式チャンネルを活用し事業内容や上部工架設工事の紹介動画を公開しました。第1回は「近況報告 富立大橋上部工架設工事vol.1」と題して、普段見ることのできない工場での橋の桁製作や、工事現場の進捗状況をまとめ、第2回は「富立大橋上部工架設工事DX(デジタルトランスフォーメーション)&近況報告vol.2」と題して、工事でのDXに関する取り組みを中心に紹介し、第3回は「近況報告 富立大橋上部工架設工事vol.3」と題して、桁運搬から架設までの状況を、タイムラプスなどを用いてわかりやすく紹介しました。現在も継続公表中なのでぜひご覧ください。

5. 開通式

供用開始に先立ち、令和6年3月23日、富立大橋左岸詰において、富山立山線建設促進期成同盟会と富山県が主催となり、富立大橋4車線化の開通式を執り行いました。国会、県議会の議員の皆様方、北陸地方整備局富山河川国道事務所長、また、富山市、立山町、上市町、舟橋村の各市町村長、議会議長等多数のご来賓のご臨席を賜り、知事式辞、来賓祝辞、富山市長挨拶、立山土木事務所長の工事経過報告と続き、立山町長謝辞で式典の締めくくりとなりました。

また、屋外での開通セレモニーとして、地元の県立雄山高等学校吹奏楽部の皆さんによるブラスバンド演奏で華を添えていただき、開通ムードが一気に高まったところで、テープカットとくす玉開披により富立大橋4車線化開通のお祝いをいただきました。最後に、立山土木事務所の道路パトロールカーが先導する車両パレードにて渡り初めを行いました。

なお、一般車については、2車線から4車線への切り替え作業を行い、翌朝6時より開放しました。

6. おわりに

当該区間の開通に際し、ご支援、ご協力いただきました国会議員、県議会議員、国土交通省、富山立山線建設促進期成同盟会などの関係機関の皆様方、そして事業にご理解と多大なご協力をいただきました地元の皆様方、さらに高い技術力を持って工事を完成させた施工業者の方々に厚く御礼申し上げます。

今後とも、災害に強く、地域全体の交通の円滑化に資する主要地方道富山立山公園線の4車線化の延伸事業を進めてまいります。



越後平野の治水・利水の歴史を物語る閘門群 ～インフラツーリズムへの活用～

株式会社クリエイトセンター 田邊敏夫

1. はじめに

「^{こうもん}閘門」とは「船のエレベーター」とも言われている施設で、新潟県内には数多くあります。

昨年9月に閘門を体験できる見学会をお手伝いしました。「NPO法人にいがた地域創造センター」では、新潟県新潟地域振興局地域整備部が毎年開催している「身近な社会資本見学会」の運営を受託しています。この見学会は「高校生に建設産業の魅力と重要性について理解を深めてもらう」ことを目的に、県内の土木系学科で学ぶ高校生を対象として開催しているものです。令和5年度は県立新発田南高校の生徒を対象として次の内容で開催されました。

【室内学習】

- ・建設産業の役割、通船川の成り立ち、山の下閘門排水機場の役割についての学習

【現場見学】

- 1) 山の下閘門排水機場 乗船見学
 - ・船で閘門を通行し「海拔ゼロメートル」体感
- 2) 福島潟水門本體工事 現場見学
 - ・水門工事の目的と概要の学習
 - ・現場で働く人たちとの意見交換

私は「乗船見学」で通船川の治水対策と排水機場・山の下閘門の役割などの説明を行いました。



写真2 山の下閘門 乗船見学
(提供：NPO法人にいがた地域創造センター)



写真1 山の下閘門排水機場

乗船見学では、通船川「河口の森」(新潟市東区)にある船着場から乗船して、「山の下閘門」を通過し、通船川の水面が新潟西港より約2メートル低くなっていることを体感しました。

閘門通過後は山の下橋を通過し新潟西港山の下埠頭付近で折り返し、再び山の下閘門を通過しました。今度は通船川を遡り、県営第1貯木場で折り返し、船着場に戻りました。

生徒たちは水位が2メートル近くもあつという間に上下する閘門を体験し、通船川の治水の状況について興味深く説明を聞いていました。

さて、日本国内には現在でもその機能を有している閘門が86箇所あり、新潟県内には山の下閘門をはじめとして14箇所存在し、都道府県別では一番多くなっています。

本稿では改めて「閘門」について、その役割と基本的な構造と操作について紹介するとともに、新潟県内にある閘門の設置理由などを整理しました。最後に、近年では利用回数が減少している閘門の有効利用のあり方について考えてみました。

2. 閘門の役割、基本的構造及び操作

閘門とは、水位の異なる水面をもつ河川や運河、水路へ船を通航させるために設けられる施設で、閘室と閘門扉で構成されています(図1)。

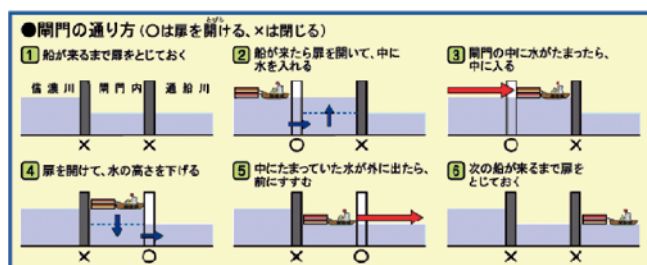


図1 開門操作（出典：新潟県新潟地域振興局HP）

開 室：船を収容して水位を上下させる部分です。河川・運河などの上流側と下流側をつなぎ、船を収容するために十分な大きさがあります。

開門扉：開室の両端に設置され、河川などと開室を区分する水門です。船が開室に出入りする際に開門扉が開閉されます。

開門の通り方（操作）は図1のとおりです。

みなさんが、開門と聞いて思い浮かぶものは「パナマ運河」の開門群ではないでしょうか。パナマ運河は中米のパナマ地峡を開削して太平洋と大西洋を結んでいる開門式運河です。大西洋と太平洋とを、南米大陸南端を回り込まずに海運で往来できるルートとなっています。延長は約80キロメートルで、通過する船舶の最大寸法は幅32.3メートル、長さ294.1メートル、喫水は12メートルに達します。

運河の起終点となる河川などに水位差があったり、標高の高い地域を通過したりする場合には開門が設置されます。

ヨーロッパでは、運河はローマ時代から主要な交通施設として多くの河川間をつなぎ、物流と観光を担い、今でも多数の開門が利用されています。

3. 新潟県内の河川舟運と開門設置

新潟県内では古くから河川舟運が輸送手段として利用されてきました。この理由として低平地河川が多く、河川流量が豊富であったことです。

江戸時代には船道（大名から物資輸送の特権を与えられた業者）が舟運を担っていました（図2）。

明治10年代になると蒸気船を運航する会社が設立され、新潟を拠点に長岡（信濃川）、葛塚（通船川・新井郷川）、分田・京ヶ瀬（信濃川・小阿賀野川・阿賀野川）、亀田（栗ノ木川）、燕（中ノ口川）、吉田（西川）の間に就航しました。

しかし、明治時代後期から大正時代にかけて道路整備と鉄道敷設により次第にこうした航路は廃止され、昭和13年に蒸気船は姿を消しました。

その後も昭和30年代まで河川は物資輸送の一役を担っていました。更に道路整備が進むとトラック輸送が主流となり、昭和40年代には川砂利・川砂の運搬だけとなり、現在でも細々と続いています。

特筆すべきは通船川です。通船川川沿いには昭和30年代に2箇所の県営貯木場が造られ、南洋材の集積港であった新潟西港で木材が筏に組まれ、貯木場との間を数多く往来していました。

昭和39年6月の新潟地震で流域が地盤沈下したことで、従来の堤防方式から低水路方式に変更され排水機場と「山の下開門」が設けられました。開門設置の理由はこうした木材筏の往来のためでした。しかし、近年、沿岸の合板製造工場が解散し、新潟西港から貯木場への木材筏の曳航は令和2年7月に終了しました。

蒸気船の運航が衰退し始めた頃に、新潟県内初の開門である大河津洗堰開門（大正14年）が建設されました。大河津分水路の開削に伴い、平常時は水道用水、農業用水を信濃川本川に流し、洪水時には全流量を分水路に流すために本川には洗堰、分水路には可動堰が設置されました。この洗堰により信濃川本川の航路が分断さ



図2 船道の活動区域と開門位置

（出典：「図説新潟開港150年史」に開門位置を田邊追記）

れたことから、洗堰に付随して閘門が設けられました。

これ以降、平成時代初めにかけて信濃川水系と阿賀野川水系下流部に17箇所もの閘門が設置され、現在でも14箇所の閘門がその機能を有しています(図2、表1)。

全国的には運河に設置された閘門も数多くあります。しかし、新潟県内の閘門は河川に設置され、河川管理施設もしくは農業用水取水用の頭首工(取水堰)設置に伴い航路が分断されたことからその補償施設として設置されました。なお、頭首工に設置されている閘門は「舟(船)通し」と呼ばれます。

閘門設置施設の機能は主に次のとおりです(括弧内は表1の番号、丸数字は廃止閘門の番号)。

①放水路開削に伴う流量調整

放水路開削に伴い本川と放水路間の流量調整用として設置された水門・堰に閘門を設置

- 信濃川と関屋分水路(番号6,7)
- 信濃川と大河津分水路(番号10,③)

②派川分岐点での流量調整

放水路開削と同様に、派川分派点で流量調整用として設置された水門・堰に閘門を設置

- 阿賀野川と小阿賀野川(番号3)
- 信濃川と中ノ口川(番号9)

③排水機場

流域の地盤沈下により本川や海に自然排水できなくなったことから設けられた排水機場に閘門を設置

- 新井郷川(番号1)
- 通船川(番号4,5)

④頭首工(取水堰)

河川横断施設である頭首工に舟(船)通しを設置

- 阿賀野川(番号2)
- 信濃川(番号8)
- 中ノ口川(番号11~14)

⑤その他

- 新井郷川閘門(番号①)

阿賀野川改修の一環として支川新井郷川を分離して直接、日本海に排水させたことで舟運路が分断されたことから阿賀野川本川と新井郷川分水路との間に閘門を設置

- 木戸閘門(番号②)

新潟地震により通船川流域が地盤沈下したため信濃川合流点と阿賀野川分岐点に排水機場を設置し、両川に機械排水する方式となり中間地点に流域を分離する機能を兼ねた閘門を設置

表1 新潟県の閘門(「運河と閘門」等を基に田邊作成 ※利用状況は各閘門管理者から聴取)

番号	水系名	河川名(分流先河川)	名称	管理者	所在地	設置年	設置理由	利用状況(年間)
①	阿賀野川水系	新井郷川分水路 (派川新井郷川分水路)	新井郷川閘門	新潟県新潟地域振興局 (閘門機能停止、水門として管理)	新潟市北区	1933	阿賀野川改修 (新井郷川の分離)	—
1	阿賀野川水系	新井郷川分水路	新井郷川排水機場 船通し	新潟県新発田地域振興局	新潟市北区	1996	排水機場設置	10隻程度 (イベント・漁業・観光)
2	阿賀野川水系	阿賀野川	阿賀野川頭首工 舟通し	新潟県新発田地域振興局	五泉市	1967	取水堰設置	10隻程度 (花火・漁業・管理)
3	阿賀野川水系	阿賀野川 (小阿賀野川)	満願寺閘門	国土交通省北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所	新潟市秋葉区	1928 (1974)	流量調整	数隻 (イベント・漁業・管理)
4	信濃川水系	通船川	津島屋閘門	新潟県新潟地域振興局	新潟市東区	1966	排水機場設置	10隻程度
②	信濃川水系	通船川	木戸閘門	(廃止)	新潟市東区	1966	流域分割	—
5	信濃川水系	通船川	山の下閘門	新潟県新潟地域振興局	新潟市東区	1967	排水機場設置	50~80隻 (主にレジャー)
6	信濃川水系	関屋分水路	新潟大堰閘門	国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所	新潟市西区	1971	分水路開削	利用なし
7	信濃川水系	信濃川	信濃川水門閘門	国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所	新潟市中央区	1974	分水路開削	数隻 (水上バス・レジャー)
8	信濃川水系	信濃川	大島頭首工舟通し	新潟県新潟地域振興局	三条市	1993	取水堰設置	5隻程度 (砂利運搬・レジャー)
9	信濃川水系	信濃川 (中ノ口川)	蒲原大堰閘門	国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所	三条市	1984	流量調整	30隻程度 (砂利運搬・管理)
③	信濃川水系	信濃川(西川)	西川閘門	(廃止)	燕市	1904	分水路開削	—
10	信濃川水系	信濃川	大河津洗堰閘門	国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所	燕市	1925 (2006)	分水路開削	20隻程度(花火)
11	信濃川水系	中ノ口川	上流部頭首工舟通し	西蒲原土地改良区	新潟市南区	1975	取水堰設置	利用なし
12	信濃川水系	中ノ口川	針ヶ曽根頭首工舟通し	西蒲原土地改良区	新潟市南区	1975	取水堰設置	利用なし
13	信濃川水系	中ノ口川	児ノ木頭首工舟通し	西蒲原土地改良区	新潟市西蒲区	1976	取水堰設置	利用なし
14	信濃川水系	中ノ口川	六カ江頭首工舟通し	西蒲原土地改良区	燕市	1974	取水堰設置	利用なし

4. 県内閘門の利用状況

近年での主な利用目的は河川管理、砂利運搬、漁業、プレジャーボート等、水上バス・観光・花火大会、閘門利用イベント、学習会・見学会で、舟運の衰退により利用は少なくなっています(表1)。

一番多い山の下閘門でも年間50～80隻程度(主にプレジャーボート)の利用となっています。次に利用が多い蒲原大堰閘門、大河津洗堰閘門で20～30隻程度(主に砂利運搬船)です。観光目的としては信濃川水門閘門が水上バスの航路として利用(常時は水門が開放され閘門を経験できる機会は少ない)される以外は、イベント時だけの利用となっています。

なお、昨年秋に民間(旅行会社)が通船川から「津島屋閘門」、阿賀野川、新井郷川(途中で「新井郷川排水機場船通し」を通過)を通り福島潟に至る船旅を催行し、盛況だったそうです。

5. おわりに～インフラツーリズムへの活用～

通船川にあった2箇所の貯木場は木材筏の曳航が廃止され、その機能がなくなりました。貯木場は低平地河川である通船川において洪水調節の機能を有していることから新潟県が管理しています。

これらの貯木場をマリーナとして利用することにより、海とマリーナを行き来するプレジャーボートの航路となる山の下閘門の活用となり、通船川の流域と治水を学ぶ機会にもなるのではないかと思います。

また、近年、ダム、橋、港、歴史的な施設等、インフラ施設を観光するインフラツーリズムが注目されています。巨大な構造物、インフラ内部、工事風景など非日常を体験し味わえます。また、ガイドの案内を聞き展示物を見て回り、「インフラ施設の役割や造られた背景を学ぶことができる」ほか、地域と連携した企画に参加することで「インフラ施設周辺の観光資源を楽しむ」こともインフラツーリズムの魅力です。

隣県の富山市では富岩運河環水公園から「中島閘門」を通り、岩瀬を結ぶ「富岩水上ライン」(運営:富山県・富山市、運航:富岩船舶株式会社)が定期運航されています(写真3)。このクルーズ最大の見どころは高低差2.5メートルの「船のエレベーター」を体験できることです。閘門は富岩運河の建設に合わせて昭和9年に設けられ、国指定重要文化財にも指定されています。クルーズは平成21年に運航が開始され、現在は4隻体制となっています。終点の岩瀬は江戸時代初期から日本海を行き来する北前船の港町として栄え、現在でも土蔵や廻船問屋が



写真 3 中島閘門(出典:富岩水上ラインHP)

建ち並ぶ大町通りや海が見える美しい街並みが続いています。岩瀬から富山市街地までは富山地方鉄道富山港線(旧富山ライトレール)が富岩運河に並行して通り、周遊することができます。なお、富岩運河環水公園には「世界一眺めの良い」と言われるスターバックスがあります。

東京でも下町の河川・運河と水位差を体験できる閘門を巡るクルーズが運行されています。

全国的にも数多く存在する新潟県内の閘門を巡るクルーズの運航は、まさにインフラツーリズムに相応しいものではないでしょうか。閘門が設置されている施設群を巡り閘門を体験することで、低平地である越後平野とその治水と利水の歴史を知る絶好の機会となります。更には流域治水を考える機会ともなり、安全で安心して暮らせる持続可能な地域づくりにも寄与します。

新潟県内の閘門は中島閘門のような好条件が揃っている訳ではなく、閘門を経験できるクルーズを定期的に運航することには幾つものハードルがあります。まずは冒頭に述べたような見学会を市民向けに定期的に開催することが第一歩と考えます。

主な参考文献

- ・運河と閘門(久保田稔他、日刊建設工業新聞社、2011年)
- ・図録「新潟の舟運」(新潟市歴史博物館、2006年)
- ・図説 新潟開港150年史(新潟市歴史博物館他、2018年)
- ・パナマ運河局HP
- ・国土交通省HP
- ・新潟県新潟地域振興局HP
- ・株式会社トラベルマスターズHP
- ・富岩水上ラインHP
- ・下町探検クルーズがれおんHP

ちょっと
気になる
コーナー

越中八尾

ECCHU
TOYAMA
YATSUO

初心に帰って——「越中八尾おわら風の盆」

中越トラベル 常務取締役 山崎康裕

最初に1月1日に発生した能登半島地震の被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

「ちょっと気になるコーナー」の第1回を覚えていらっしゃいますか？今回と同じ「越中八尾おわら風の盆」でした。今回は、初心に帰って再びご案内致します。

富山県富山市八尾町で毎年9月1日2日3日の3日間開催される300年余り踊り継がれた歴史のある行事です。昔ながらの街並みに数千本のぼんぼりが並び、三味線や太鼓、胡弓などに合わせて唄が響く中、編み笠を付け

た男女の踊り手が流し歩く光景は気品を感じます。町を流れる「井田川」沿いに11の旧町があります。旧町ごとに「おわら保存会」があり、様々な特徴もあります。旧町の街並みや特徴を見比べると新たな発見があるかもしれません。歩きが苦手な方は「おわら演舞場」「曳山展示館ステージ」「八尾駅前特設ステージ」も設けられていますのでゆっくりと踊りを鑑賞する事も出来ます。

踊りだけでは無く、「旧町の散策」や「八尾おわら資料館」「八尾曳山展示館」なども楽しむことが出来ます。



▲諏訪町通り（石畳・白壁・格子戸の町屋）



▲八尾曳山展示



◆ ◆ ◆
アクセス：車の場合は、富山ICから30分、

JR利用は、越中八尾駅が最寄りの駅となります。

— 皆様へ

「ちょっと気になるコーナー」を長い間お読み頂きありがとうございました。この度、中越トラベル（朝日交通（株）観光部）と中越交通（株）の常務取締役を退任致しました。今後は、中越トラベルの一般営業員として旅行に携わっていきます。今後とも宜しくお願い致します。

本6月号をもって「ちょっと気になるコーナー」はお休みさせていただきます。

山崎様におかれましては長年にわたる執筆活動、誠にありがとうございました。これまでの御功労に感謝申し上げます。

会誌編集委員長 高橋

令和6年度（第42回） 北陸支部定時総会

〈総務部会 総務委員会〉

1. 概要

去る令和6年4月18日（木）新潟グランドホテルにおいて、令和6年度（第42回）北陸支部定時総会が開催されました。総会は、昨年同様に通常開催として実施されました。

総会には、会員企業65社のうち、48社（欠席17社は委任状）・90名が出席し、総会成立の宣言に続き、吉野支部長より挨拶がありました。

挨拶では、「今年の元旦に能登半島地震が発災し、東日本大震災、阪神・淡路大震災、熊本地震と同レベルの被害が想定されており、また大変狭い地域で大きな被害が発生しています。当会員の皆様方には、年度末の繁忙期にもかかわらず、応急対応に専心をいただきまして大変ありがとうございました。」と御礼を述べたうえで、「発災後3ヶ月が経過しましたが、本格的な復旧はまだ本当に緒に就いたばかりであります。今後、被災地の本格的な復旧・復興に向けて引き続き、通常業務をこなしながらの対応になると思いますが、皆様方のご尽力をお願いします」と表明されました。



吉野支部長 挨拶

2. 議事概要

支部長挨拶の後、議長より議事録署名人2名が委嘱され議事に入りました。

議事では、令和5年度事業報告（案）及び収入支出決算報告（案）、令和6年度事業計画及び収入支出予算が提出され、それぞれ原案通り承認されました。

令和6年度事業計画では、会員の技術力向上のための調査研究や講習会の開催、地域社会への貢献活動及びDXの推進など13事業に対して各部会が活動する報告がなされました。



定時総会の様子

3. 講演会

総会終了後は、信太啓貴様（北陸地方整備局企画部長）を講師としてお招きし、「セオリーとアイデンティティ」と題した講演会を開催いたしました。

講師 信太啓貴 様
（北陸地方整備局企画部長）

本講演では、まず、令和6年 能登半島地震への対応状況についてのお話があり、その中で当支部の災害支援活動への謝辞もいただきました。その後、ご自身の土木分野に従事されたご経験等を踏まえ、セオリーに固執せず各人のアイデンティティの重要性や建設コンサルタントの立場から改めて地域に問いかけを行い、従来とは違うインフラの未来を発想する必要性など貴重な講演をいただきました。

以上、令和6年度（第42回）北陸支部定時総会の概要を報告いたします。

なお、総会にて承認された各事業計画の実施に際しては、支部会員の皆様よりご支援、ご協力を賜り、円滑に実施してまいります。

お知らせ

令和5年度 倫理・法令委員会講習会 職場のメンタルヘルス セルフケア編 ～「ストレスで折れない心」の育て方～ 〈総務部会 倫理・法令委員会〉

1. はじめに

総務部会では、独占禁止法を含むコンプライアンス講習のほか、時代的な背景を踏まえて「職場活性化のコミュニケーション」や「働き方改革」等のテーマ講習を開催してきた。R4年度は「職場におけるハラスメント」をテーマとしたことから、R5年度は職員一人ひとりが様々なプレッシャーやストレスに対して上手に適應するための「メンタルヘルス」をテーマとし企画・開催したものである。

2. 開催方法

日 時:令和5年12月25日～令和6年1月31日

開催方法:web録画配信

参加人数:申込者137名(アンケート回答114名)

講 師:一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会
医 師 田代 茂美氏

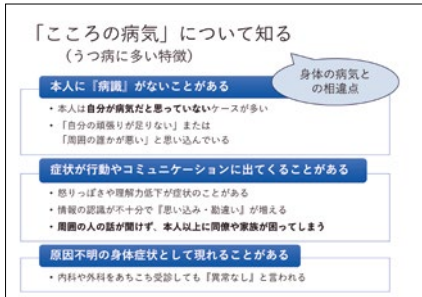
3. 研修内容

(1) ストレスとは

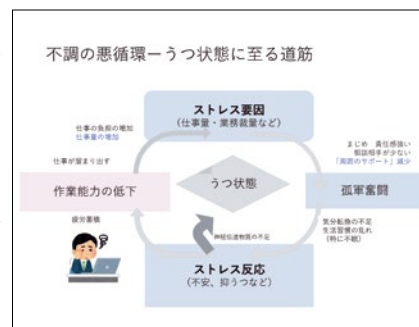
ストレスとは、「心身にダメージを与えるものから生命を守ろうとする反応」で、日本ではストレス要因とストレス反応を総じてストレスと言っている。ストレスに対しては、「逃げるか、戦うか」の対応があり、人の体は自ずと交感神経の活動が活発化し、ホルモンバランスが上下するなど戦闘モードに切り替わる。また、ストレスは悪い側面だけでなく、ストレスと闘うことでスキルアップにつながることもある。



心の病気(うつ病)の特徴は、
①本人に病識が無いこと、②症状が行動やコミュニケーションに出てくること、③原因

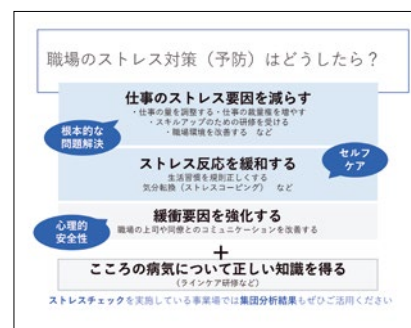


不明の身体症状として現れること等がある。心の病気は「誰でも罹患」する可能性があり、ストレス要因とストレス反応が繰り返される悪循環によって引き起こされる。そのメカニズムは徐々に解明され、神経伝達物質の過不足によって生ずることがわかってきており、現在は寛解が望める病気となっている。



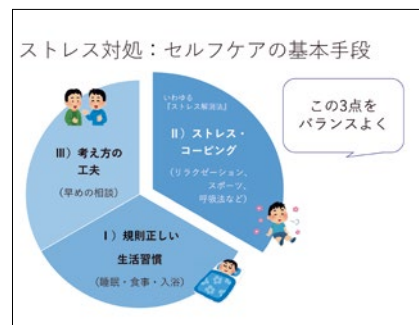
(2) ストレスへの対処:セルフケアの進め方

ストレス対処では、不調の悪循環をどこかで断ち切る必要があり、①ストレス要因の削減(仕事量の削減など根本的問題解決)、②ストレス反応の緩和(規則正しい生活、気分転換等のセルフケア)、③緩衝要因の強化(上司や同僚とのコミュニケーションの改善)等の方策がある。ただし、①ストレス要因の削減は、能力が無い場合や気分が落ち込んでいるときに取り組んでも効果は得られず、①～③をバランスよく取り組むことが大切となる。



【セルフケアの基本3原則】

セルフケアは、I 規則正しい生活習慣、II ストレスコーピング(解消法)、III 考え方の工夫をバランスよく実施する必要がある。



1) セルフケアI: 規則正しい生活習慣

規則正しい生活習慣の中で、最重要項目は「睡眠」であり、「睡眠負債」はメンタル不調の元凶となる。良い睡眠を

とるためにも食事や運動など規則正しい生活習慣が大切である。

セルフケア I 規則正しい生活習慣



1. 食事 3食規則正しく
2. 運動 強度は弱めに、継続が重要
3. 体重管理 目標はBMIを25以下に
4. 睡眠 十分にとって『睡眠負債』を予防
5. 休養 緊張をゆるめる時間の確保を
6. 禁煙 3日間禁煙できれば成功するかも
7. 飲酒 眠れない人はお酒を飲んではいけない

2)セルフケアII:ストレスコーピング

ストレスコーピング(リラクゼーション法)は、ストレス反応で活発化している交感神経を、意識的に副交感神経優位状態へもっていくことで、その方法には腹式呼吸、筋弛緩法、入浴などがある。

セルフケアII ストレスコーピング
リラクゼーション法

副交感神経優位状態へ意識的にもっていく手法



1. 腹式呼吸 意識して呼吸数を少なめに調整、安定させる
2. 筋弛緩法 いったん筋肉を緊張させると、直後に脱力しやすくなることを利用
3. 入浴 ぬるめの温度が緊張をほぐしやすい

自律神経を体性神経と連動させられるのは『呼吸』

中でも自律神経と体性神経を連動させられるのは『呼吸』のみで、加えて趣味やスポーツなどの楽しい活動も有効である。

セルフケアII ストレスコーピング
趣味、身体活動

趣味：仕事と違う活動内容がよい
やりすぎない：生活習慣を乱さない
人それぞれ：自分の好みを押し付けない
種類をできるだけ多く：目標100個！



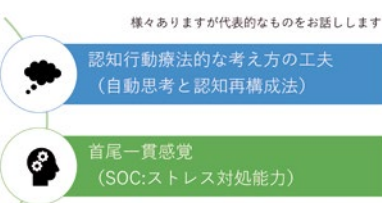
楽しんで短時間でも没頭できる活動
遊びが苦手な人には真面目な趣味を紹介
(クラシック音楽鑑賞、世界遺産めぐりなど)

3)セルフケアIII:考え方の工夫

考え方の工夫の代表的なものとしては、①認知行動療法的な考え方の工夫(自動思考と認知再構成法)と、②首尾一貫感覚(SOC:ストレス対処能力)があり、ストレスに強い人は無意識に実行している。

III 考え方の工夫

様々ありますが代表的なものをお話しします



認知行動療法的な考え方の工夫
(自動思考と認知再構成法)

首尾一貫感覚
(SOC:ストレス対処能力)

ストレスに強い人にとっては無意識に実行している内容です

3)-1認知行動療法的な工夫(自動思考)

高ストレスになりやすい人はネガティブに向かう「考え方の癖」がある。まずは自動思考に気づくことが大切で、気づいたら「とりあえず、考えを一時停止する」、「自分に反論(反証)する」、「紙に書き出して言語化する(認知再構成法)」

自動思考に気づいたら.....



1. とりあえず、考えを一時停止する
「また深読みしてたようだ、しょうがないケースだな」
2. 自分に反論(反証)する
1. 本当はどうか？ 100%完全に正しいか？
2. 例外はないか？
3. 他人は、どう言うだろうか？
4. 最悪の事態はどうなるのか？ 逆に最善の場合は？
3. 紙に書き出して言語化する(認知再構成法)

自分に「ツツコム」を入れるようなものです

言語化する(認知再構成法)」など、考え方の癖を探り、行動を変えてみるのが良い。

3)-2首尾一貫感覚(ストレス対処能力)

ストレスは、人生において避けられず、ストレスから自分を守るだけでなく、成長の糧にする考え方を持つことも必要である。ストレス対処力では、①把握可能感(だいたいわかった)、②処理可能感(なんとかかなる)、③有意味感(どんなことにも意味がある)を持つことが重要となる。「なんとかかなる」と思うには『仲間と武器』があるとよく、「だいたいわかる」には仕事の予備知識を得ること、また「どんなことにも意味がある」と感じるには働きがいや使命感が必要である反面、時には「これは私の使命ではない」と判断して逃げることも良い。

首尾一貫感覚SOC (ストレス対処能力)

“Sense of Coherence”
アーロン・アントノフスキーの健康生成論『健康の謎を解く：ストレス対処と健康保持のメカニズム』1987年



- ・第二次世界大戦中、ナチスの強制収容所で心の健康を保った人々に共通する特性を調査
- ・ストレスは人生で避けられないものであり、ストレスから自分を守るだけでなく成長の糧にできる考え方は何か

『首尾一貫感覚』で深掘りし自分をつくる方法 → 河出書房新社 著 舟木 梨乃/著
『ストレス対処能力SOC』→有信堂 山崎隆太郎 戸ヶ原泰典 飯野純子 /著

SOC: 3つのストレス対処力



把握可能感(だいたいわかった)
自分の置かれている状況や今後の展開を把握できている、あるいはある程度予測できていること。



処理可能感(なんとかかなる)
自分にふりかかるストレスや障害にも対処できていること。



有意味感(どんなことにも意味がある)
自分の人生や自分自身に起こることは、すべて意味があると思うこと。

『「なんとかかなる」と思えるレッスン〜首尾一貫感覚で心に余裕を作る』
舟木 梨乃/著・ディスカヴァー・トゥエンティワン 2023.10

【まとめ】

建設コンサルタントは、品質・工期・損害等の業務対応や資格取得、能力評価、発注者・現場対応など様々なストレスを抱える環境にあり、組織でストレス対処に取り組む必要がある。階層別の職務に応じたストレスを理解し、階層に見合った対処方法を考えることが重要であり、職員の側も、必要に応じ各相談機関を利用して頂きたい。

4.おわりに

今回、開催期間中の1月1日に能登半島地震が発生し、多くの方々が被害に見舞われました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

講習会の開催に際しては、地震発生後も申込みを頂き、聴講後のアンケート回答も114名(回答率83%)に上るなど、講習内容への関心の高さが伺えます。今まさに災害対応にご尽力されている会員企業の皆様に心から敬意を表しますとともに、今回の講習がインフラを支える建設コンサルタント一人ひとりのメンタルサポートの一助になれば幸いです。

最後に、ご多忙にもかかわらず講師をお引き受け頂いた一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会 田代茂美氏に心より感謝申し上げます。 以上

令和5年度 支部活動報告

1.支部会員状況

令和5年	4月1日現在の支部会員数	正会員 61 準会員 2	計 64 社
令和5年	6月1日現在の支部会員数	正会員 62 準会員 2	計 63 社
令和6年	3月末日現在の支部会員数	正会員 62 準会員 2	計 63 社

2.支部活動

(1) 北陸支部総会

第41回 北陸支部定時総会〔新潟市内〕 4月20日

記念講演 講師：一般財団法人国土技術研究センター理事長 徳山 日出男 様

(2) 北陸支部監査および役員会

北陸支部監査〔新潟市内〕 4月 5日

第1回役員会〔web会議〕 4月 6日

第2回役員会〔新潟市内〕ペーパーレス会議試行開始 6月 8日

第3回役員会〔web会議〕 9月 7日

第4回役員会〔web会議〕 11月 2日

第5回役員会〔web会議〕 1月18日

第6回役員会〔web会議〕 3月 7日

(3) 部会委員会会議

新潟地域委員会会議 〔新潟市内〕 5月17日・ 7月 4日・ 9月 5日

富山地域委員会会議 〔富山市内〕 6月21日

総務委員会会議 〔新潟市内〕 6月22日web併用・ 8月22日・12月19日

倫理・法令委員会会議 〔新潟市内〕 9月22日・12月19日

技術部会委員長会議 〔新潟市内〕 6月 6日・12月19日

橋梁委員会会議 〔新潟市内〕 5月17日

若手WG会議 〔新潟市内〕 6月 1日

技術部会、広報部会 土木出張PRの打合せ〔新潟市内〕 7月28日・ 8月29日

広報部会会議 〔新潟市内〕 5月18日・12月19日

広報委員会会議 〔新潟市内〕 7月13日・10月16日

会誌編集委員会会議 〔新潟市内〕 7月10日・11月 1日

災害対策委員会会議 〔新潟市内〕 6月14日・12月19日

災害対策委員会 防災演習打合せ〔新潟市内、web利用〕 8月18日

新型コロナウイルス感染症に関する危機管理対策北陸本部を設置〔令和2年4月16日〕令和5年5月17日解除

令和6年能登半島地震に対応するため、災害対策北陸現地本部を設置〔令和6年1月2日〕継続中

(4) 本部との会議

本部PM専門委員会との意見交換会〔新潟市内、web利用〕 8月29日

本部地域コンサルタント委員会との意見交換会〔新潟市内〕 10月17日

本部・支部意見交換会〔web会議〕 3月11日

(5) 対外活動

北陸ブロック意見交換会 〔新潟市内〕 10月24日

北陸地方整備局との意見交換会〔新潟市内〕 11月 9日

新潟県土木部との意見交換会 〔新潟市内〕 10月26日

富山県土木部との意見交換会 〔富山市内〕 非開催

新潟市との意見交換会 〔新潟市内〕 11月13日

石川県と災害協定締結 1月 1日

インフラ再生技術者育成(ME)協議会 幹事会 4月28日・ 1月18日

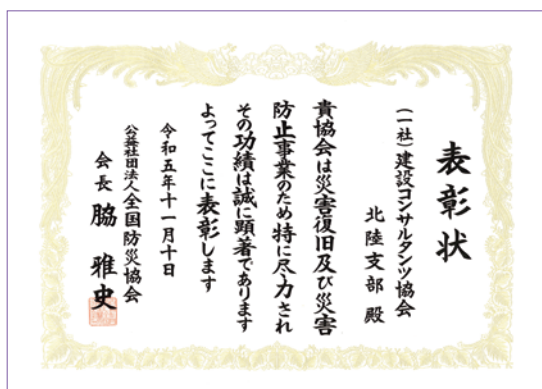
インフラ再生技術者育成(ME)協議会 協議委員会（書面会議） 5月24日・ 1月18日

インフラ再生技術者育成(ME)資格審査委員会 12月12日

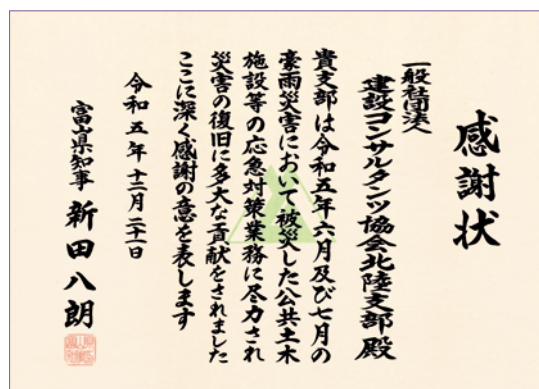
けんせつフェア北陸in金沢2023 幹事会 5月24日・12月 5日

けんせつフェア北陸in金沢2023 実行委員会 6月12日・12月 5日

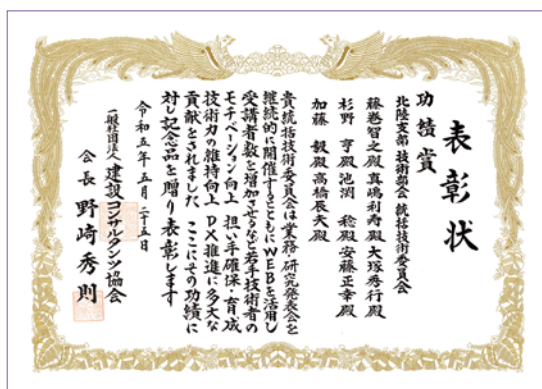
建設技術報告会 実行委員会	6月14日・2月28日
新技術活用評価会議	9月6日・12月1日
第4回 北陸橋梁保全会議 運営部会・報文部会（書面会議）	4月19日
第4回 北陸橋梁保全会議 幹事会web会議	8月8日・10月10日・3月22日
第4回 北陸橋梁保全会議 実行委員会web会議	10月12日
北陸ICT戦略推進戦略研究会（書面会議）	7月21日
土木用コンクリート製品評価委員会web会議	2月15日
北陸建設界担い手確保・育成協議会	12月6日
北陸建設界担い手確保・育成協議会 新潟県部会	10月20日
北陸建設界担い手確保・育成協議会 石川県部会	11月13日
北陸地方建設副産物対策連絡協議会及び下越分科会（書面会議）	6月8日・9月14日
北陸地方建設副産物対策連絡協議会 中越分科会（書面会議）	9月22日
北陸地方建設副産物対策連絡協議会 上越分科会（書面会議）	6月14日
令和5年度（公社）全国防災協会 災害復旧及び災害防止事業功労者表彰	11月10日
令和5年度 富山県 豪雨災害感謝状	12月21日
令和5年度 建コン協本部功績賞 技術部会統括技術委員会が授与	5月25日



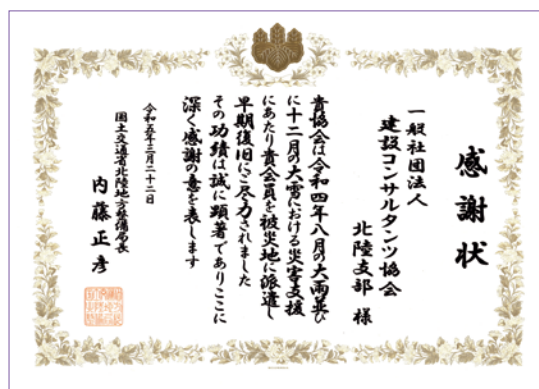
令和5年11月10日全国防災協会



令和5年12月21日富山県



令和5年5月25日建コン協本部



令和5年3月22日北陸地方整備局（前年度分追記）

(6) 講習会・イベント・社会貢献活動

支部会員名簿発刊	7月上旬
支部会誌「雪の音」発刊	6月15日・10月15日・2月15日
主催 河川・砂防委員会 河川研修会〔新潟市内〕参加：集合14名、ライブ配信50名	4月12日
主催 建設環境委員会「白山外来植物除去作業in市ノ瀬」〔白山国立公園〕参加39名	6月25日
主催 建設環境委員会 技術セミナー「グリーンインフラがもたらす新潟の未来」〔新潟市内〕参加14名	8月10日
主催 支部防災演習及び本部防災演習〔新潟市内・富山市内・金沢市内・web利用〕	9月1日
主催 道路委員会トンネル委員会 道路・トンネル現場見学会 国道7号 朝日温泉道路〔村上市内〕参加34名	9月26日～27日
主催 若手WG 皆でフックアップ！北陸建コン若手エンジニア2023〔金沢市内〕参加38名	9月29日
主催 橋梁委員会 橋梁現場見学会〔三条市内〕【天候不良の為中止】	中止
主催 都市計画委員会 まちづくりセミナー〔長野市内〕参加10名	10月26日

主催	統括技術委員会 北陸支部 業務・研究発表会〔富山市内〕	参加：会場42名、ライブ配信100名	11月21日
主催	道路委員会トンネル委員会 道路・トンネル技術講習会〔富山市内〕		11月29日
		参加：会場22名、ライブ配信32名	
主催	協会本部多田副会長講演会〔新潟市内〕	参加104名	12月19日
主催	倫理・法令委員会 メンタルヘルス講習会 録画配信	参加 137名	12月25日～1月31日
	建設界の担い手・育成に係る金沢大学における講義について	主催 金沢河川国道	6月15日
	支部長就任インタビュー	主催 日刊建設通信新聞社	6月27日
	富山湾海岸特別清掃	主催 富山市〔高岡市雨晴浜～伊勢領浜〕	7月 2日
	官民懇談会	主催 建設ジャーナル社	8月 3日・11月24日
	富山県立大学ダ・ヴィンチ祭	主催 富山県立大学	8月 5日
	けんせつ×テックフェスタ2023	主催 富山県土木部	9月30日
	けんせつフェア北陸2023in金沢	主催 北陸地整	10月 4日～ 5日
	若手エンジニア交流会	主催 北陸地整長岡国道	12月 1日
共催	第28回社会資本整備セミナー〔富山市内〕	主催 北陸地域づくり協会	7月19日
共催	第28回社会資本整備セミナー〔金沢市内〕	主催 北陸地域づくり協会	7月20日
共催	第28回社会資本整備セミナー〔新潟市内〕	主催 北陸地域づくり協会	8月 2日
共催	第28回社会資本整備セミナー〔長野市内〕	主催 北陸地域づくり協会	8月 3日
共催	第29回社会資本整備セミナー〔富山・金沢・新潟・長野〕	主催 北陸地域づくり協会	中止
共催	橋梁委員会「第1回 設計の基礎を学ぶ勉強会」	ライブ配信 参加85名 録画配信 8/ 3～ 9/ 6	7月20日
共催	橋梁委員会「第2回 設計の基礎を学ぶ勉強会」	ライブ配信 参加71名 録画配信 9/12～10/13	9月 7日
共催	橋梁委員会「第3回 設計の基礎を学ぶ勉強会」	ライブ配信 参加73名 録画配信12/11～ 1/15	12月 7日
共催	橋梁委員会「第4回 設計の基礎を学ぶ勉強会」	ライブ配信 参加42名 録画配信 3/15～ 4/19	3月13日
共催	橋梁委員会 橋梁技術講演会〔新潟市内〕	参加：会場24名、ライブ配信64名	11月30日
共催	水文観測講習会（富山会場・新潟会場）	主催 北陸地整	11月6日・8日・15日
共催	Made in 新潟（土木・建築）展示・発表会	主催 新潟県	11月15日
共催	Made in 新潟 新技術[土木・建築]Web発表会	主催 新潟県	2月28日
本部	GIS講習会（ArcGIS初級編）web研修		9月13日
本部	GIS講習会（SIS初級編）集合・web研修		10月 4日～ 5日
本部	マネジメントセミナー 集合・ライブ配信		10月 4日
本部	CIM講習会（ハンズオン）2023〔新潟市内〕		10月30日～31日
本部	品質セミナー録画配信		11月 2日～12日
本部	ICTセミナー2023ライブ配信		11月21日
後援	防災講演会	主催 北陸地域づくり協会	4月18日
後援	第41回土砂災害防止「全国の集い」in 富山	主催 富山県他	6月 1日～ 2日
後援	道路橋の長寿命化対策に関わる技術講習会	主催 日本建設保全協会	7月19日
後援	コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2023	主催 コンクリートメンテナンス協会	7月27日
後援	防災講演会〔新潟市内〕	主催 北陸地域づくり協会	9月21日
後援	三方良しの公共事業推進カンファレンス2023富山	共催 地域建設業新未来研究会他	10月 6日
後援	第33回 土木フェスティバル	主催 北陸地整他〔国営越後丘陵公園〕	10月 8日
後援	第18回地盤調査法講演会	主催 地盤工学会	10月13日
後援	応用生態工学会 富山地域研究会 研修会		11月 6日
後援	第38回 雪シンポジウムin阿賀町	主催 阿賀町・日本雪工学会上信越支部	11月 7日
後援	北陸・河川技術講演会@富山	主催 北陸地域づくり協会	12月 4日
後援	北陸・河川技術講演会@新潟	主催 北陸地域づくり協会	開催延期
後援	防災とボランティア週間 防災講演会	主催 北陸地域づくり協会	開催延期
後援	第43回地域産学官と技術士との合同セミナー	主催 日本技術士会	開催延期
後援	第5回インフラメンテナンスフォーラム	主催 北陸地整	中止
後援	北陸地方シンポジウム2024	主催 国土政策研究会〔金沢市内〕	中止

(7) 講師派遣

第1回けんせつセミナー 2023	初任者技術研修（道路概論）web 研修	5月25日
第4回けんせつセミナー 2023	道路施設の補修・補強技術（洞門・トンネル）web 研修	6月21日
第9回けんせつセミナー 2023	道路設計 web 研修	8月30日～31日
第10回けんせつセミナー 2023	橋梁Ⅰ（下部工の設計・施工編）web 研修	9月6日
第11回けんせつセミナー 2023	橋梁Ⅱ（上部工の設計・施工編）web 研修	9月13日
第15回けんせつセミナー 2023	コンクリート構造物の維持管理〔新潟市内〕	11月1日
インフラメンテナンス講習会（道路附属物等の点検概要）	〔北陸技術事務所〕	9月14日
インフラメンテナンス講習会（コンクリート橋の維持管理）	〔北陸技術事務所〕	9月28日
インフラメンテナンス講習会（橋梁点検・診断の留意点）	〔北陸技術事務所〕	10月5日
インフラメンテナンス講習会（橋梁の補修・補強、点検支援技術）	〔北陸技術事務所〕	10月12日
インフラメンテナンス講習会（洞門点検概論、実習）	〔北陸技術事務所〕	10月19日
新潟県土木部業務研修 フレ研 工事監督者の基礎知識（2年目）web 研修		9月15日
新潟県土木部職員研修 橋梁Ⅲ（行政編）web 研修		9月25日
北陸地整 道路構造物管理実務者（トンネル）研修〔北陸技術事務所〕		10月18日～19日
富山県土木部技術職員研修（道路）橋梁点検業務		10月19日

(8) 学校への広報活動

〔高専・大学〕各県毎に掲載

新潟大学工学部工学科	6月30日
新潟大学農学部農学科	6月9日・7月26日
新潟大学キャリアセンター	6月14日
長岡技術科学大学環境・建設系 環境社会基盤工学専攻	10月11日
長岡工業高等専門学校環境都市工学科	7月3日
新潟工科大学建築学科 建築・都市環境学系	5月8日
富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科	5月22日
富山県立大学キャリアセンター	5月22日
富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	5月29日
金沢大学理工学域 環境デザイン学類	4月25日
石川工業高等専門学校環境都市工学科	6月23日
金沢工業大学環境・建築学部環境土木工学科	6月22日
石川県立大学生物資源環境学部環境科学科	6月22日

〔小学校・中学校・高校〕新潟県内の地域毎に掲載

村上市立朝日中学校	5月22日	南魚沼市立大和中学校	6月16日
新発田市立佐々木中学校	6月20日	津南町立津南中学校	7月14日
新発田市立東中学校	6月29日	新潟県立塩沢商工高等学校	2月29日
新発田市立川東中学校	10月3日	十日町市立南中学校	6月16日
新潟市立葛塚中学校	6月16日	十日町市立川西中学校	10月20日
新潟市立早通中学校	5月19日	十日町市立中里中学校	6月28日
新潟市立大形中学校（2回）	11月17日	十日町市立十日町中学校	6月30日
新潟県立新潟工業高等学校への出前講座	10月24日	十日町市立下条中学校	7月4日
田上町立田上中学校	1月30日	十日町市立松代中学校	5月23日
長岡市立江陽中学校	5月26日	妙高市立妙高中学校	5月26日
長岡市立北辰中学校	6月2日	上越市立吉川中学校	6月7日
長岡市立東中学校（2回）	7月26日	上越市立大島中学校	7月12日
長岡市立与板中学校	5月18日	上越市立安塚中学校	7月5日
小千谷市立片貝中学校	6月12日	上越市立板倉中学校	9月15日
新潟県立栃尾高等学校	3月5日	上越市立中郷中学校	10月25日
魚沼市立小出中学校	11月8日	上越市立浦川原中学校	11月10日
魚沼市立広神中学校	10月17日	新潟県立上越総合技術高校	9月20日
魚沼市立湯之谷中学校	6月7日	糸魚川市立東中学校	7月25日
魚沼市立魚沼北中学校	7月7日	糸魚川市立青海中学校	6月6日
南魚沼市立八海中学校	6月16日	新潟県立糸魚川白嶺高等学校	10月26日
南魚沼市立塩沢中学校	9月28日	佐渡市立真野小学校	6月21日

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

会 員 名 簿

令和6年6月1日現在

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
朝日航洋(株)	新潟支店	950-0088 新潟市中央区万代2-3-6 新潟東京海上日動ビル2F	025-249-1150 025-249-1155
旭調査設計(株)		950-0908 新潟市中央区幸西1-1-11	025-245-8345 025-245-8349
アジア航測(株)	新潟営業所	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-28 パーク新潟東大通ビル	025-243-3246 025-247-7969
(株)アルゴス		944-0009 妙高市東陽町1-1	0255-72-3448 0255-72-9426
アルスコンサルタンツ(株)		920-0362 金沢市古府2-76	076-248-4004 076-248-4174
いであ(株)	北陸支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-1 カープ新潟ビル8F	025-241-0283 025-243-5650
(株)エイト日本技術開発	新潟事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-1-20 ステーションプラザ新潟ビル8F	025-256-8611 025-256-8612
エヌシーイー(株)		950-0954 新潟市中央区美咲町1-7-25	025-285-8540 025-285-3531
応用地質(株)	北信越事務所	950-0864 新潟市東区紫竹7-27-35	025-274-5656 025-271-6765
大原技術(株)		940-0856 長岡市美沢3-511	0258-35-4511 0258-36-3254
(株)オリエンタルコンサルタンツ	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟4F	025-244-7881 025-244-7387
開発技建(株)		950-0914 新潟市中央区紫竹山7-13-16	025-245-7131 025-245-7132
(株)開発技術コンサルタント		951-8133 新潟市中央区川岸町3-33-3	025-233-0204 025-233-6465
川崎地質(株)	北陸支店	950-0914 新潟市中央区紫竹山5-7-5	025-241-6294 025-241-6226
基礎地盤コンサルタンツ(株)	北陸支店	950-0925 新潟市中央区弁天橋通1-2-34 尾山ビル	025-257-1888 025-257-1880

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
北建コンサル(株)		933-0941 高岡市内免3-3-6	0766-23-3666 0766-23-3987
(株)キタック		950-0965 新潟市中央区新光町10-2	025-281-1111 025-281-0002
(株)協和		933-0838 高岡市北島1406	0766-22-2100 0766-22-7602
(株)協和コンサルタンツ	新潟営業所	940-0061 長岡市城内町3-8-7 蒼柴ビル801	025-889-8302 025-889-8304
(株)クリエイトセンター		951-8133 新潟市中央区川岸町2-8-1	025-232-7121 025-232-7130
(株)クレアリア	北陸支店	950-0973 新潟市中央区上近江2-9-19 レジデンス近江101	025-288-6893 025-288-6894
(株)建成コンサルタント		933-0014 高岡市野村284-1	0766-25-6097 0766-25-5697
(株)建設環境研究所	新潟支店	950-0915 新潟市中央区鑑西1-7-5 エスポワール新潟1F	025-282-7385 025-282-7387
建設技研コンサルタンツ(株)		933-0007 高岡市角602-1	0766-21-6126 0766-21-6192
(株)建設技術研究所	北陸支社	950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 メットライフ新潟テレコムビル	025-245-3883 025-241-9082
(株)構造技研新潟		950-0932 新潟市中央区長潟1204-2	025-288-6800 025-288-6824
国際航業(株)	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟	025-247-0318 025-241-4146
(株)国土開発センター		921-8033 金沢市寺町3-9-41	076-247-5080 076-247-5090
国土防災技術(株)	新潟支店	950-2042 新潟市西区坂井1035-1	025-260-2245 025-260-7522
五大開発(株)		921-8051 金沢市黒田1-35	076-240-6588 076-240-6575
(株)三協技術	北陸支店	920-0901 金沢市彦三町1-1-1 金沢彦三111ビル	076-256-5530 076-256-5531

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
サンコーコンサルタント(株)	北陸支店	950-2055 新潟市西区寺尾上4-4-15	025-260-3141 025-268-4950
(株)上智		939-1351 砺波市千代176-1	0763-33-2085 0763-33-2558
(株)スリーエスコンサルタンツ	北陸支社	926-0867 七尾市桜町12	0767-58-5505 0767-58-5506
相互技術(株)		950-0994 新潟市中央区上所2-11-14	025-283-0150 025-283-0152
大日本ダイヤコンサルタント(株)	北陸支社	930-0029 富山市本町3-21 損保ジャパン富山ビル	076-415-7800 076-415-7795
館下コンサルタンツ(株)		939-3553 富山市水橋的場234	076-478-0090 076-478-1190
中央開発(株)	北陸支店	950-0982 新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル	025-283-0211 025-283-0212
(株)長大	北陸事務所	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル6F	025-288-0271 025-288-0273
(株)千代田コンサルタント	新潟営業所	950-0911 新潟市中央区笹口1-19-31	025-244-8445 025-249-4776
(株)ティーネットジャパン	北陸支社	951-8061 新潟市中央区西堀通6番町866 NEXT21ビル	025-226-4330 025-226-3033
(株)東京建設コンサルタント	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル	025-248-3870 025-248-3877
東京コンサルタンツ(株)	新潟支店	950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-12 クラスターナインビル8F	025-246-1827 025-246-7463
(株)東北開発コンサルタント	新潟営業所	950-0154 新潟市江南区荻曾根1-5-15	025-382-6106 025-381-3144
(株)東洋設計		920-0016 金沢市諸江町中丁212-1	076-233-1124 076-233-1224
ナチュラルコンサルタント(株)		921-8066 金沢市矢木2-147	076-246-1170 076-246-4493
(株)ナルサワコンサルタント		950-0964 新潟市中央区綱川原1-21-11	025-282-2070 025-284-7993
NiX JAPAN(株)		930-0857 富山市奥田新町1-23	076-464-6520 076-464-6671

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
(株)日本インシーク	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通1-3-8 明治安田生命新潟駅前ビル5F	025-246-1320 025-247-3740
(株)日本海コンサルタント		921-8042 金沢市泉本町2-126	076-243-8258 076-243-0887
日本工営(株)	新潟支店	950-0962 新潟市中央区出来島1-11-28	025-280-1701 025-283-0898
(株)日本港湾コンサルタント	北陸事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-8	025-243-0431 025-241-1806
(株)ニュージェック	北陸支店	950-0911 新潟市中央区笹口2-10-1 WIN21 4F	025-243-4471 025-243-4472
パシフィックコンサルタンツ(株)	北陸支社	950-0917 新潟市中央区天神1-1 プラーカ3 6F	025-247-1341 025-246-1005
(株)パスコ	新潟支店	950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 メットライフ新潟テレコムビル5F	025-243-0051 025-241-8654
(株)プラネット・コンサルタント		920-0017 金沢市諸江町下丁372	076-255-0630 076-255-0672
北電技術コンサルタント(株)		930-0858 富山市牛島町13-15	076-432-9936 076-432-4280
北陸コンサルタント(株)		939-8213 富山市黒瀬192	076-493-7717 076-493-7720
三井共同建設コンサルタント(株)	北陸事務所	951-8067 新潟市中央区本町通7番町1153 新潟本町通ビル	025-224-1285 025-224-1286
(株)村尾技建		950-0948 新潟市中央区女池南2-4-17	025-284-6100 025-283-0368
(株)村尾地研		939-8262 富山市塚原150	076-429-2511 076-429-2603
明治コンサルタント(株)	北陸支店	950-2002 新潟市西区青山1-1-22	025-265-1122 025-265-1126
八千代エンジニアリング(株)	北陸支店	950-0088 新潟市中央区万代1-1-1 朝日生命新潟ビル	025-243-5454 025-243-5883
(一社) 北陸地域づくり協会		950-0197 新潟市江南区亀田工業団地2-3-4	025-381-1020 025-383-1205
(一財) 新潟県建設技術センター		950-1101 新潟市西区山田2522-18	025-267-4804 025-267-4854

役員・委員会名簿

令和6年6月1日現在

北 陸 支 部 役 員			
支部理事	支部長	吉 野 清 文	開発技建(株)
〃	副支部長	大 平 豊	エヌシーイー(株)
〃	副支部長	渡 辺 正 三	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	副支部長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	運営委員長	渡 邊 雅 樹	開発技建(株)
〃	運営委員	黒 木 康 生	(株)日本海コンサルタント
〃	運営委員	瀬 川 光太郎	(株)建成コンサルタント
〃	運営委員	笹 谷 輝 彦	(株)国土開発センター
〃	運営委員	大 浜 正 人	(株)建設技術研究所
〃	運営委員	小 見 直 樹	エヌシーイー(株)
〃	運営委員	岩 澤 弘 和	(株)構造技研新潟
支部監事	支部監事	佐々木 大 介	(株)ナルサワコンサルタント
〃	支部監事	高 野 一 博	大原技術(株)

対 外 活 動 部 会			
	部会長	吉 野 清 文	開発技建(株)
	部会員	大 平 豊	エヌシーイー(株)
	部会員	渡 辺 正 三	大日本ダイヤコンサルタント(株)
	部会員	新 家 久 司	(株)国土開発センター
	部会幹事	飛 田 潤 一	開発技建(株)
	部会員	田 中 義 明	大日本ダイヤコンサルタント(株)
	部会員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント
	部会員	渡 部 長 務	エヌシーイー(株)
	部会員	山 田 幸 男	(株)建設技術研究所
新潟地域委員会	委員長	岩 澤 弘 和	(株)構造技研新潟
〃	委 員	田 邊 敏 夫	(株)クリエイティブセンター
〃	委 員	中 田 一 男	開発技建(株)
〃	委 員	坂 西 和 也	エヌシーイー(株)
〃	委 員	外 川 忠 利	(株)キタック
〃	委 員	坂 井 徹	旭調査設計(株)
富山地域委員会	委員長	柴 田 聡	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	田 中 義 明	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	榮 知 之	北陸コンサルタント(株)
〃	委 員	吉 田 勉	(株)上智
〃	委 員	泉 英 樹	大日本ダイヤコンサルタント(株)
石川地域委員会	委員長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	委 員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	二 俣 秀	(株)国土開発センター

総務部会			
	部会長	青 木 和 之	エヌシーイー(株)
総務委員会	委員長	清 原 宏 二	開発技建(株)
〃	委 員	佐 藤 雄 一	(株)構造技研新潟
〃	委 員	浜 辺 良 彦	相互技術(株)
〃	委 員	今 野 健	エヌシーイー(株)
〃	委 員	熊 倉 孝 次	(株)クリエイトセンター
〃	委 員	泉 英 樹	大日本ダイヤモンドコンサルタント(株)
〃	委 員	浦 正 光	(株)日本海コンサルタント
倫理・法令委員会	委員長	須 田 玲	エヌシーイー(株)
〃	委 員	飯 田 雅 之	開発技建(株)
〃	委 員	青 木 秀 典	大日本ダイヤモンドコンサルタント(株)
〃	委 員	河 原 健 二	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	新田川 貴 之	(株)国土開発センター

技術部会			
	部会長	神 田 和 久	開発技建(株)
統括技術委員会	委員長	藤 巻 智 之	開発技建(株)
〃	委 員	真 嶋 利 寿	エヌシーイー(株)
〃	委 員	大 塚 秀 行	(株)キタック
〃	委 員	杉 野 亨	大日本ダイヤモンドコンサルタント(株)
〃	委 員	池 潤 稔	東京コンサルタンツ(株)
〃	委 員	武 沢 直 貴	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	加 藤 毅	(株)クリエイトセンター
〃	委 員	高 橋 辰 夫	(株)開発技術コンサルタント
河川・砂防委員会	委員長	伊 藤 信 哉	開発技建(株)
〃	委 員	阿左美 敏 和	(株)建設技術研究所
〃	委 員	西 川 幸 成	(株)国土開発センター
〃	委 員	藤 原 大 佑	五大開発(株)
〃	委 員	太 原 晶	大日本ダイヤモンドコンサルタント(株)
〃	委 員	浦 田 齊	エヌシーイー(株)
〃	委 員	波多野 勝 弘	相互技術(株)
〃	委 員	伊 藤 正 喜	(株)開発技術コンサルタント
道路委員会	委員長	木 村 浩	エヌシーイー(株)
〃	委 員	須 佐 慎	開発技建(株)
〃	委 員	吉 田 要	(株)クリエイトセンター
〃	委 員	相 田 守	(株)キタック
〃	委 員	木 下 裕 康	(株)国土開発センター
〃	委 員	美 作 知 弘	大日本ダイヤモンドコンサルタント(株)
〃	委 員	藤 本 勇 一	(株)東洋設計

橋梁委員会	委員長	脇 坂 哲 也	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	田 村 康 裕	開発技建(株)
〃	委 員	渡 邊 敦	エヌシーイー(株)
〃	委 員	門 口 健 吾	(株)キタック
〃	委 員	佐 藤 良 晴	(株)構造技研新潟
〃	委 員	浦 修 造	(株)国土開発センター
〃	委 員	鷹 西 輝	(株)東洋設計
〃	委 員	寺 田 直 樹	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	塚 嶋 雅 則	東京コンサルタンツ(株)
トンネル委員会	委員長	須 貝 浩	エヌシーイー(株)
〃	委 員	今 度 充 之	東京コンサルタンツ(株)
〃	委 員	麻 田 正 弘	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	松 尾 内 助	(株)キタック
〃	委 員	長谷川 哲 也	サンコーコンサルタント(株)
〃	委 員	辻 本 勝 彦	(株)国土開発センター
都市計画委員会	委員長	岩 渕 和 有	エヌシーイー(株)
〃	委 員	村 田 亨	開発技建(株)
〃	委 員	荘 司 洋 文	(株)キタック
〃	委 員	森 川 大 輔	(株)国土開発センター
〃	委 員	酒 井 信 次	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	眞 島 俊 光	(株)日本海コンサルタント
建設環境委員会	委員長	竹 内 聡	開発技建(株)
〃	委 員	稲 葉 弘 之	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	若 尾 明 弘	エヌシーイー(株)
〃	委 員	竹 野 茂 樹	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	上 田 拓 哉	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	辰 橋 浩 二	(株)国土開発センター
〃	委 員	廣 井 敏 樹	大原技術(株)
若手技術者ワーキンググループ	リーダー	中 野 達 也	(株)日本海コンサルタント
〃	サブリーダー	小 倉 匡 介	開発技建(株)
〃	委 員	濱 田 康 行	(株)国土開発センター
〃	委 員	庭 山 雄太郎	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	小 口 祐 樹	(株)キタック
〃	委 員	杉 田 友 樹	(株)建成コンサルタント
〃	委 員	本 間 千 悠	(株)構造技研新潟
〃	委 員	佐久間 佑 多	相互技術(株)
〃	委 員	楡 井 将 真	エヌシーイー(株)

広 報 部 会			
	部会長	齋 藤 浩 幸	(株)キタック
広報委員会	委員長	石 塚 英 洋	エヌシーイー(株)
〃	委 員	飯 田 互	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	新 保 和 広	相互技術(株)
〃	委 員	本 間 健太郎	(株)ナルサワコンサルタント
〃	委 員	加 藤 克 裕	(株)キタック
〃	委 員	高 澤 正 浩	(株)構造技研新潟
〃	委 員	大 蔵 欣 司	(株)建成コンサルタント
〃	委 員	坂 原 徹	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	島 由 治	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	吉 村 誠 一	(株)国土開発センター
〃	委 員	泉 田 洋	八千代エンジニアリング(株)
〃	委 員	本 間 拓 海	(株)建設技術研究所
会誌編集委員会	委員長	高 橋 宏 明	開発技建(株)
〃	委 員	太 田 博 昭	(株)国土開発センター
〃	委 員	古 橋 伸 彦	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	澤 田 伸 也	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	山 田 嘉 貴	(株)クリエイイトセンター

災 害 対 策 部 会			
	部会長	吉 野 清 文	開発技建(株)
新潟現地対策本部	本部長	吉 野 清 文	開発技建(株)
〃	副本部長	大 平 豊	エヌシーイー(株)
〃	技術総括指揮者	高 橋 邦 夫	開発技建(株)
〃	副責任者	田 崎 友 康	開発技建(株)
富山現地対策本部	本部長	吉 野 清 文	開発技建(株)
〃	副本部長	渡 辺 正 三	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	技術総括指揮者	古 池 豊	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	副責任者	青 木 秀 典	大日本ダイヤコンサルタント(株)
石川現地対策本部	本部長	吉 野 清 文	開発技建(株)
〃	副本部長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	技術総括指揮者	七郎丸 一 孝	(株)国土開発センター
〃	副責任者	西 川 幸 成	(株)国土開発センター
災害対策委員会	委員長	高 橋 邦 夫	開発技建(株)
〃	委 員	青 木 和 之	エヌシーイー(株)
〃	委 員	飛 田 潤 一	開発技建(株)
〃	委 員	古 池 豊	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	増 山 繁 雄	北陸コンサルタント(株)
〃	委 員	田 中 義 明	大日本ダイヤコンサルタント(株)
〃	委 員	七郎丸 一 孝	(株)国土開発センター
〃	委 員	武 沢 直 貴	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント

事 務 局			
	事務局長	佐々木 清 一	

編集後記

1月1日に発生した能登半島沖地震は、甚大な被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の皆様の生活が一日も早く日常に戻ることを願うとともに、関係者皆様が健康で安全に復興に取り組まれることを心よりお祈り申し上げます。

さて、去る4月25日、新潟駅構内店舗が待望のリニューアルオープンを果たしました。従来のイメージを大きく刷新した店内は、まるで別世界のような洗練された空間が広がります。「本当に新潟駅の中なのか？」と戸惑ってしまうほどその変貌は劇的です。新潟初出店となる店舗も多数登場しオープン以降は人流が絶えず、特に若者を中心に大きな賑わいを見せています。

しかし、コアなファンにとっては、国内でも珍しいスイッチバック式の万代口バスターミナルが姿を消したことは寂しいニュースかもしれません。4月6日に行われた惜別イベントには多くのファンが詰めかけ、誘導員の方々が感慨深げにインタビューに答える姿も印象的でした。

工事中の万代広場は令和7年度完成予定とのこと。整備後は市民や来訪者が集い憩える空間として大きく生まれ変わります。

新潟から上越方面へのアクセス改善も検討が進められており、ミニ新幹線化など4案ほど提案されました。駅のリニューアルは利便性向上の議論を活性化させるきっかけになるでしょう。新潟駅のリニューアルは単なる駅舎の改修にとどまらず、街全体に大きな変化をもたらす可能性を秘めています。今後に期待が高まります。

古橋伸彦

発行／一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370 FAX 025-282-3371

会誌編集委員会

委員長／高橋宏明

委員／澤田伸也 古橋伸彦 太田博昭 山田嘉貴



発 行

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370 FAX 025-282-3371
<https://hr-jcca.jp/>